

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス									2025年											
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ～3日	8月 ～10日	8月 ～17日	8月 ～24日	8月 ～31日
カンピロバクター	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	10	9	3	10	8
病原性大腸菌	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	28	24	9	16 (18)	18
腸管出血性大腸菌	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	0	0	1	1	0
サルモネラ	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	2	0	2	6	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	5	6	1	7	8
黄色ブドウ球菌 MRSA	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	2	4	0	5	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	0	0	1	0	1*
ロタウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

*その他は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報 令和7年第35週(8月25日～8月31日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			1		4		
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症	6	1		1		3	1	
四類	4	日本紅斑熱	3			1		1		1
		レジオネラ症	1							1
五類	145	梅毒	8	2			1	5		
		百日咳	137	7	50	8	1	34	8	29

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町東部…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年35週(8月25日～8月31日)

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり7.00人の報告があり、増加しています。また、高齢者施設等から集団発生の報告が続いています。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を行いましょう。

2 伝染性紅斑

定点当たり2.95人と、多い状況が続いています。妊婦が感染すると胎児水腫や流産を引き起こす可能性があるため、特に注意が必要です。

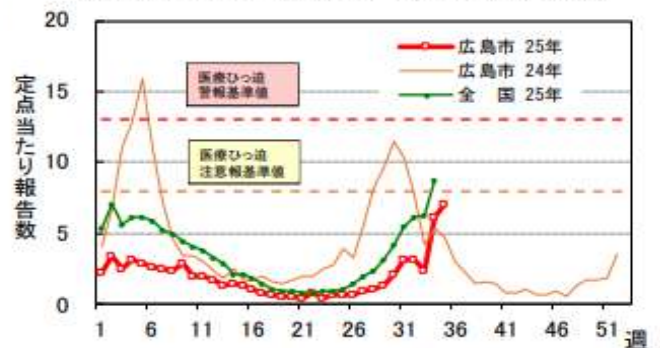
3 RSウイルス感染症

定点当たり0.77人の報告があり、増加傾向です。

4 百日咳

34件の報告があり、多い状況が続いています。乳児は重症化リスクが高く、特に注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1580	45.14	△	→	小児科	突発性発しん	7	0.32	0.31	→
	インフルエンザ	2	0.06	0.42	→		ヘルパンギーナ	1	0.05	0.69	→
	新型コロナ(COVID-19)	245	7.00	△	→		流行性耳下腺炎	-	-	0.02	→
小児科	RSウイルス感染症	17	0.77	0.91	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	→
	咽頭結膜熱	8	0.36	0.26	→		流行性角結膜炎	6	0.75	0.25	→
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	2.14	0.86	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	→
	感染性胃腸炎	111	5.05	2.43	→		無菌性髄膜炎	1	0.17	-	→
	水痘	4	0.18	0.05	→		マイコプラズマ肺炎	14	2.33	0.80	→
	手足口病	6	0.27	2.16	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	→
	伝染性紅斑	65	2.95	0.01	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	→

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科 定点数	22
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	89	20歳代・1人、50歳代・1人、70歳代・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	3	26	20歳代・O157・推定感染地域: 国外、50歳代・O157、80歳代・O157
4	日本紅斑熱	1	4	60歳代・市外
5	梅毒	5	100	20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・2人
5	百日咳	34	839	10歳未満・15人、10歳代・11人、30歳代・1人、40歳代・4人、50歳代・2人、60歳代・1人